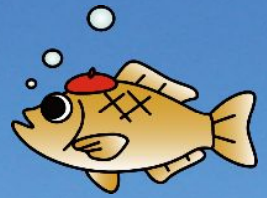


# 生きもの環境水路評価

【九州編】



～生きもの環境評価ツールを使って身近な水路の環境を考えよう～

発行/編集 2007年3月 **acles** (社) 農村環境整備センター

## 海と河川・水路を行き来する魚など

### ウナギ

成魚の体長は  
40～90cm



背びれ、尾びれ、尻びれがつながり、腹びれがなく胸びれが大きくて目立つ。

### アユ

10～30cm



(提供: 細谷和海)

唇が厚く瀬の石についた藻類を削ぐように食べる。

### モクズガニ

成体の甲幅は  
7～8cm



毛がさみ脚に密生しており、大型に成長するほど発達する。

## 河川と水路を行き来する魚

### アリアケギバチ

★ 12～25cm



ナマスの様な体つきで4対のヒゲを持つ。河川の中～下流域の岩の多い場所を好んで生息。

(提供: 九州農政局 資源課)

## 水路と水田を行き来する魚

### コイ

成魚の体長は  
25～60cm



(提供: 細谷和海)

口ひげが2対ある。中～下流域の淀みや流れの緩やかな淵、湖沼などに生息。

### ギンブナ

10～25cm



(提供: 細谷和海)

コイに似ているが体高が高く、口ひげはない。河川の中～下流域、水路、湖沼などに群で生息。

### ナマズ

30～50cm



背びれが小さく口ひげは2対で1対は短い。湖沼や河川の中～下流域の泥底部や砂泥底部に生息。

### タモロコ

★

5.5～10cm



体側に薄く一本の線が出る。口ひげがあり、うろこは目立つ。流れの緩やかな水路などに生息。

### ドジョウ

10～15cm



体は細く、口ひげが5対ある。平野部の水田、湿地、泥底の水路などに多く生息。

### メダカ

★

2～3.5cm



尻びれが幅広く長いのが特徴。流れの緩やかな水路や水田に生息。

## 水路でよくみられる魚たち

### ウグイ

成魚の体長は  
12～45cm



繁殖期以外は体色が銀白色で、産卵期には婚姻色で赤い線が出る。河川の上～下流域などに生息。

### タカハヤ

7～10cm



全体に小黒点が点在する。粘液が多く、うろこが目立たない。河川の上～中流域、山間の湖沼などに生息。

### オイカワ

10～14cm



産卵期のオスは美しい婚姻色となり青地にオレンジ色の模様が出る。河川の中～下流域の瀬や淵、水路などに生息。

### カワムツ

7～20cm



胸びれと尾びれが黄色いのが特徴。上～中流域の流れの緩やかな水路などに多く生息。

### イトモロコ

5～8cm



一対の口ひげがあり、瞳の径より長い。流れの緩やかな河川の中～下流域や水路などの砂礫底に生息。

### モツゴ

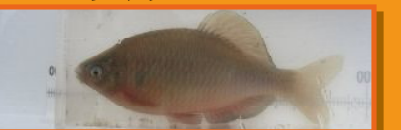
5～12cm



口は小さく、やや上向きについている。河川の下流域や流れの緩やかな水路、ため池に生息。

### アブラボテ

3.3～5.5cm



1対の口ひげがあり、体色は黒すんでいる。平野部の水路などに生息。

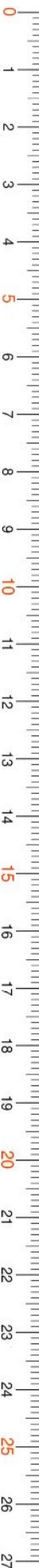
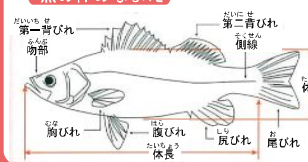
### ドンコ

15～25cm



体はすんぐりしており、背中に黒い三角と褐色のひし形模様が並び、流れの緩やかな水路などに生息。

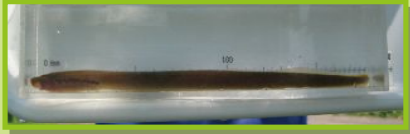
### 魚の体のなまえ





### 湧水や冷水及び中山間地域を代表する生きもの

■スナヤツメ ★ 成魚の体長は 15~25cm



水質がよく、流れが緩い泥が堆積する淵と砂礫底の淵とともにある水域に生息。

■アマゴ 10~30cm



ヤマメに似るが体側に朱点があり区別ができる。水生昆虫などを食べる。河川の上流域に生息。

■カスミサンショウウオ ★ 7~12.5cm



(提供：(財)自然環境研究センター)  
黒に近い暗褐色で、尾部の上下に黄色や黄土色の縁どり模様が入る。雑木林や瓦礫の下などに生息。

■ヤマトシマドジョウ 8~14cm



口ひげは6本で、眼の下に棘がある。河川の中流域や用水路の砂底や砂泥底に生息。

■カジカガエル 成体の体長は オス：3.5~4.5cm メス：5~7cm



体色が河原の石に似た灰褐色で見つけにくい。フィフィフィフィーと通るような声でなく。上~中流域に生息。

■オオイタサンショウウオ ★ 10~18cm



緑褐色または黄褐色の単色。暗色の小斑点をもつ個体もいる。

■ヤマメ 15~30cm



体の側面に上下に長い斑紋模様(パーマーク)がある。上~中流域に生息。

■ニホンイモリ 7~14cm



背中は黒く、お腹には鮮やかな赤い模様がある。水田・湖沼・小川・水溜まりなどの止水域に生息。

■サワガニ 成体の甲幅は 2~3cm



甲羅には毛や突起などなく、滑らかである。水がきれいな沢・小川などの上~中流域に生息。

### 水路で見られる国外外来魚

■タイリクバラタナゴ 成魚の体長は 4~7cm



上から見ると体は細いが体高は高い。平野部の河川や水路、湖沼に生息。

■カダヤシ ★ 2~4cm



平地の流れが緩やかな水路などに生息。

■オオクチバス ★ 30~35cm



大きく見ればスズキの仲間、背びれが第一背びれと第二背びれに分かれる。湖沼や河川の下流域に生息。

### 水路で見られるその他の国外外来生物

■ウシガエル ★ 成体の体長は 15~18cm



日本に生息するカエルの中では最大。背面の皮膚はサメ肌状である。

■アメリカザリガニ 7~15cm



全身が太短く、赤褐色で殻も堅い。

■ブルーギル ★ 10~25cm



体高が高く左右に扁平。うろこは大きく表面はざらつく。流れが緩い水路や湖沼に生息。

■スクミリンゴガイ



卵の塊は濃いピンク色をしており、水上の植物などに産み付けられる。

■カワヒバリガイ ★



ムール貝に似ているが食べられない。暗いところが好きで、足糸を出して石やコンクリートなどに塊になって付着する。

(提供：関東農政局 資源課)

### 国外外来生物とは？

国外外来生物とは、外国から日本に持ち込まれたものです。もともといた生きものを食べたり、国内生物と競合するなど生態系に悪い影響を与えます。

★は外来生物法により移動や飼育することを禁止されています。

### 地域特有の希少な魚

■ヒナモロコ ★ 成魚の体長は 4~7cm



黄色味が少なく、地味な印象を受ける。流れの緩やかな水路や浅い池などに生息。

(提供：細谷和海)

■ニッポンバラタナゴ ★ 5cm



タイリクバラタナゴに似ているが、やや小形で腹びれの前縁に白線がない。下流域の淀みや浅い湖沼などの止水に生息。

★は外来生物法による特定外来種

★はかつて多く見られたが生息環境の変化により現在では減ってしまったもの(希少種)

★は本来は生息していなかったが移殖等により生息が確認されたもの(国内外来魚)

